

# 筑波大学附属駒場中・高等学校

## 第53回教育研究会のご案内

### 1. 期日・場所

○ 2026年11月21日（土）

○ 筑波大学附属駒場中・高等学校 〒154-0001 東京都世田谷区池尻4-7-1

HP: <https://www.komaba-s.tsukuba.ac.jp> e-mail: kyoikukenkuyukai@tsukukoma-gafe.org

### 2. 研究主題

「生成AI時代に、学校だからできること」

### 3. 日程

|           |            |  |             |  |             |  |             |
|-----------|------------|--|-------------|--|-------------|--|-------------|
| 8:30～9:30 | 9:30～10:20 |  | 10:40～11:30 |  | 12:40～14:40 |  | 15:00～16:30 |
| 受付        | 第1校時       |  | 第2校時        |  | 研究協議会       |  | 講演会         |

#### 〈1〉公開授業（9:30～11:30） 社会・理科・英語

##### 第1校時（9:30～10:20）

| 教科 | 題目と要旨                                                                                                                                                            | 学年   | 授業者   |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 社会 | <b>ヨーロッパにおけるEU</b><br>ヨーロッパがEUとして地域統合を進めてきた過程をたどり、その果たしてきた役割や課題について学びます。統合における小国が果たした重要性を理解し、国家の枠組みを超え、課題解決へ向けて国際協力に取り組むことの重要性について学習していきます。                      | 中学2年 | 関口 岳  |
| 理科 | <b>物質の性質を探究する</b><br>観察・実験から規則性や実験結果の背後に隠された意味を見出す学びを大切に、協働的な探究を通して、生徒自らが問い、考察し、確かめる探究のサイクルを生み出す授業デザインを皆様と考えたい。                                                  | 中学3年 | 黒田 圭佑 |
| 英語 | <b>英語コミュニケーションⅠにおけるアウトプット</b><br>大規模言語モデルの進歩は言語学習に大きな影響を及ぼしている。英語コミュニケーションⅠでは、年間を通してAI時代の英語の授業のあり方をさまざまな観点から生徒に考えさせることを試みている。本授業ではその一環として位置づけた生徒のアウトプット活動を提案したい。 | 高校1年 | 深宮 美宇 |

##### 第2校時（10:40～11:30）

| 教科 | 題目と要旨                                                                                                                                                                                    | 学年   | 授業者   |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 社会 | <b>テーマ史オンリーで行う筑駒『歴史総合』の“普段の授業”</b><br>高1『歴史総合』は、「国民/国民国家を考える」という大テーマのもと、『最後の授業』の授業・「マイノリティからみるUSA史」・「ユダヤ人の歴史」という3つの小テーマで1年間の授業を進めている。今回は、“よそ向きの授業”ではなく、普段の授業を公開し、通史ではない授業の可能性について考えてみたい。 | 高校1年 | 早川 和彦 |
| 理科 | <b>物体の運動を探究する</b><br>運動方程式を単に質量、力、加速度の間に成立する関係式として扱うだけでなく、運動の時間的・空間的追究に活かす視点を見出し、運動量、エネルギー等の導入に役立てていきたい。                                                                                 | 高校2年 | 真梶 克彦 |
| 英語 | <b>ディスカッションを中心に据えた授業</b><br>高校2年生では、身近な話題について英語でディスカッションする力を身につけさせたいと考えている。そのためには、生徒の知的好奇心を刺激し、議論を深められる題材を扱うことが重要である。本授業では、そのような題材の一つの可能性を探りたい。                                          | 高校2年 | 阪田 卓洋 |

## 〈2〉研究協議会（12:40～14:40）

| 教科  | 主 題 ・ 内 容                                                                                                                                                                                                | 担 当 者                                                |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 社 会 | <b>I 公開授業をめぐって</b><br>各公開授業について、授業者からの趣旨説明、参観者からの質疑応答を通して研究協議を行う。<br><b>II ワークショップ「ICT・生成AIと社会科授業づくり」</b><br>様々なICTツール（アプリ、デバイス）や生成AIをどのように活用しているか、それらが社会科授業にもたらす可能性や課題は何か、参加者間での情報交換・意見交換をワークショップ形式で行う。 | 授業者 関口 岳<br>早川 和彦                                    |
|     |                                                                                                                                                                                                          | 助言者<br>小関 祐之<br>（国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官）    |
| 理 科 | <b>I 公開授業をめぐって</b><br>各公開授業について、授業者からの趣旨説明、参観者の方々からのご意見を賜りながら研究協議を行う。<br><b>II AIとの向き合い方</b><br>本校での活用事例を紹介し、参加者の方々からのご意見を賜りながら、教科理科との相性等を見出していきたい。                                                      | I 授業者 黒田 圭佑<br>真梶 克彦                                 |
|     |                                                                                                                                                                                                          | II 発表者 今和泉 卓也<br>他<br>助言者<br>梶山 正明<br>（元筑波大学学校教育局次長） |
| 英 語 | <b>I 公開授業をめぐって</b><br><b>II 生徒が主体的に発信し、相互理解を深める能力の育成</b><br>公開授業に関する検討に加え、生徒が自ら英語で発信し理解し合う能力を高めていくために、英語科各学年の日々の授業で取り組んでいることを報告し、より効果的な方策を協議したい。                                                         | 授業者 深宮 美宇<br>阪田 卓洋                                   |
|     |                                                                                                                                                                                                          | 助言者<br>名畑目 真吾<br>（筑波大学人間系教育学域助教）                     |

### 〈3〉講演会（15:00～16:30）

#### 「生成AI時代の学びのデザイン」

##### 講演者

益川 弘如 氏（青山学院大学教育人間科学部教育学科教授）

専門は学習科学、認知科学、教育工学。相模原市立中野中学校の生成AI活用事業に携わり、その成果を編著書『AIと仲間と学び合う』で紹介。その他の著作に、『なぜ「深い学び」がうまくいかないのか？』（共著、近刊）、「協調学習を通じた知識の転移」『認知科学講座3 心と社会』、「情報通信技術の進展をいかした教育環境の革新に向けて」『教育学年報13 情報技術・AIと教育』、『主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック』（序章）、『学びのデザイン：学習科学』（共編著）などが、訳書に『デジタル社会の学びのかたち ver.2』（A・コリンズ/R・ハルバーソン著）、『学習科学ハンドブック 第三版』（R・K・ソーヤー著）などがある。

##### 企画概要

前半は、益川弘如氏により、「生成AI時代の学びのデザイン」をテーマに講演していただく。講演を通して、授業を通して生徒はどのように学ぶのか、生成AIの活用によって実現する効果的な学びとはどのようなものか、などを考察する。

後半は、本校教員数名が登壇し、授業づくりにおける生成AIの活用などに関する事例を紹介したうえで、益川氏を交えてディスカッションを行う。ディスカッションを通して、教師・生徒は生成AIとどのように向き合うべきか、教師は生成AI時代の学びをどのようにデザインするべきか、などを考察する。

##### 企画趣旨

生成AIの急速な普及がもたらす影響は、教育現場においても無視できないものとなってきた。教科に関する知識の集約や解説、学習資料の要約や翻訳、レポートやスライドなどの資料作成、制作物への批評、学習計画への助言……。生成AIの機能は、従来教師が担ってきた役割の一部を代替し、生徒の学習活動の一部を代行してしまうようにも見える。このような状況の中、学校の教室で教師による授業を通して学ぶことの意味は何か、学校だからこそできる学びのあり方をどのようにデザインするか、ということが問われている。

生成AI時代の学びのあり方を考えるとき、生成AIを「どう使うか」だけでなく、生成AIと共に「どのような学びを実現したいのか」、つまり学習観を問いなおすことが欠かせない。学習観に着目することで、生成AIの活用法にとどまらず、授業一般のあり方を再考し、授業改善への示唆を得ることができるだろう。その際、そもそも人はいかに学ぶのか、効果的な学びとはどのようなものか、といった認知科学・学習科学の知見が手がかりとなる。

以上をふまえ、本講演会では、認知科学・学習科学の理論を背景に、教育現場での実践例を参照しながら、生成AI時代の学びをいかにデザインするかを考える。

益川弘如氏による講演では、認知科学・学習科学の観点から「生成AI時代の学びのデザイン」をとらえる理論的な枠組みについて、学校現場における事例をふまえてお話しいただく。その理解をふまえて、本校教員が生徒の学びに対する生成AIの影響をどのように捉えているか、生成AIの影響と向き合いつつ授業で何を／どのように学ぶべきだと考えているか、などをエピソードベースで紹介する。理論と実践を重ね合わせながら、各教科で「生成AI時代の学びのデザイン」をどのように構想できるか、益川氏に助言をいただきながらディスカッションを行い、考察と議論を深めたい。

|         |                                                                                                                                                                                               |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○参加資格   | <u>参加は教育関係者に限らせていただきます。</u>                                                                                                                                                                   |
| ○定員     | 社会科50名／理科30名／英語科100名／講演会240名（先着順）                                                                                                                                                             |
| ○資料代    | 無料                                                                                                                                                                                            |
| ○参加申込   | 申込フォーム（下記）からお申し込み下さい。折り返し、受付完了メール（回答のコピー）が届きます。恐れ入りますが、定員を超えてしまった場合のお知らせは後日になることがあります。受付完了メール（回答のコピー）が届かない場合は、下記のメールアドレスまでお問い合わせ下さい。なお、携帯キャリアのメールアドレスを登録された場合、一部のファイル送付ができないことがありますのでご注意ください。 |
| ○問い合わせ先 | 本校研究部教育研究会係 e-mailアドレス：kyoikukenkyukai@tsukukoma-gafe.org<br>※電話でのお問い合わせはご遠慮下さい。                                                                                                              |
| ○交通機関   | 下記の地図をご参照下さい。自動車での来校はご遠慮下さい。                                                                                                                                                                  |
| ○昼食・飲み物 | 各自でご用意いただくか、近隣の飲食店をご利用下さい。                                                                                                                                                                    |
| ○宿泊施設   | 宿泊施設は、渋谷周辺の宿泊施設が便利です。各自でお申し込み下さい。                                                                                                                                                             |



京王井の頭線「駒場東大前」駅西口下車徒歩7分  
東急田園都市線「池尻大橋」駅北口下車徒歩15分  
(渋51) 東急バス (渋谷ー若林折返所)  
(渋54) 小田急バス (渋谷ー経堂) いずれも「駒場」下車徒歩1分